

## 令和 5 年度（R4 補正） 新規採択時評価の実施状況

（砂防課）

事業名	箇所・地区名等	所在市町	事業費 (百万円)	費用対効果	備考
通常砂防	建穂神社沢	静岡市	130	80.8	
通常砂防	足間沢	川根本町	250	1.7	
通常砂防	平松沢 B	磐田市	140	8.6	
通常砂防	平松沢 C	磐田市	140	4.5	
通常砂防	水ノ谷川	磐田市	140	7.8	
火山砂防	逢初川	熱海市	120	1.3	
急傾斜地崩壊対策	神島 B	伊豆の国市	300	7.5	
急傾斜地崩壊対策	建穂赤松峠 No. 2	静岡市	420	5.9	
急傾斜地崩壊対策	千代日向 No. 2	静岡市	120	15.2	
急傾斜地崩壊対策	川原平 b	藤枝市	200	9.1	
急傾斜地崩壊対策	坊主免	藤枝市	300	4.2	
急傾斜地崩壊対策	源太山	湖西市	100	22.9	


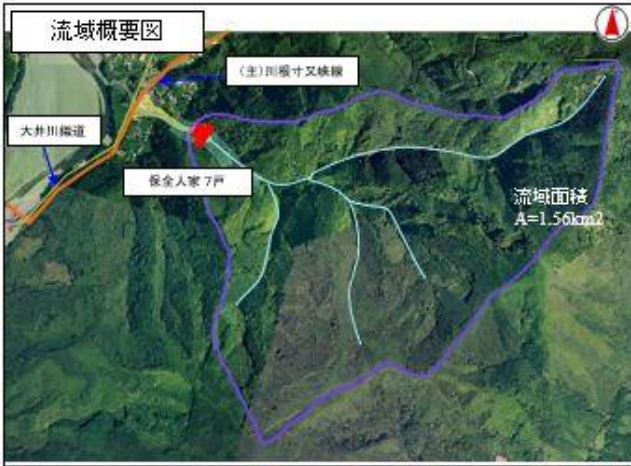


## 令和5年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	建穂神社沢防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	建穂神社沢			所在市町	静岡市葵区		
事業費	130 百万円			事業期間	R 4 ~ R 8		
事業概要、目的							
<p>建穂神社沢は静岡市の西部に位置し、保全対象として人家 242 戸、市道を含む土石流危険渓流である。渓床には不安定土砂が堆積し、令和4年9月の台風15号による豪雨では土石流による被害が発生した。このため、砂防堰堤を整備し、さらなる土砂災害を未然に防止する。</p>							
費用対効果(B/C)	80.8	総費用	130	総便益	10,510	基準年	R 4
費用対効果分析の手法							
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1)による。							
評価指標、項目							
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家、市道等に被害を及ぼすおそれがある。          &lt;過去の災害履歴&gt; 令和4年 台風15号          &lt;災害発生の危険度&gt; 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
							
							

## 令和5年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	足間沢防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	足間沢			所在市町	榛原郡川根本町		
事業費	250 百万円			事業期間	R 4 ~ R 8		
<b>事業概要、目的</b> 足間沢は静岡県中部に位置し、保全対象として人家 7 戸、県道川根寸又峡線、町道を含む土石流危険渓流である。 足間沢上流では溪床に不安定土砂が厚く堆積しており、令和4年9月の台風15号による豪雨では土石流による被害が発生した。さらなる土石流による甚大な被害が懸念されるため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を防止する。							
費用対効果(B/C)	1.7	総費用	232	総便益	389	基準年	R 4
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1)による。							
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、県道川根寸又峡線、町道等に被害を及ぼすおそれがある。 <過去の災害履歴> 令和4年 台風15号 <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性が高い。							
<b>事業概要図</b>							
							
							
県道川根寸又峡線				保全人家			

## 令和5年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	平松沢B防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	平松沢B			所在市町	磐田市		
事業費	140 百万円			事業期間	R4 ~ R6		
<b>事業概要、目的</b> 平松沢Bは静岡県の西部に位置し、保全対象として人家17戸、県道を含む土石流危険渓流である。当該箇所は令和4年台風15号により土石流が発生した箇所であり、さらなる土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。							
費用対効果(B/C)	8.6	総費用	150	総便益	1,279	基準年	R4
<b>費用対効果分析の手法</b> 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1)による。							
<b>評価指標、項目</b> <災害発生時の影響> 人家、県道磐田天竜線等に被害を及ぼすおそれがある。 <過去の災害履歴> 令和4年 台風15号 <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性が高い。							
<b>事業概要図</b>							
							
<b>保全対象</b>							
							
人家17戸				県道 磐田天竜線			



## 令和5年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	平松沢C防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	平松沢C			所在市町	磐田市		
事業費	140 百万円			事業期間	R 4 ~ R 5		
事業概要、目的 平松沢Cは静岡県西部に位置し、保全対象として人家10戸、県道を含む土石流危険渓流である。当該箇所は令和4年台風15号により土石流が発生した箇所であり、さらなる土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。							
費用対効果(B/C)	4.5	総費用	153	総便益	682	基準年	R 4
費用対効果分析の手法 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1)による。							
評価指標、項目 <災害発生時の影響> 人家、県道磐田天竜線等に被害を及ぼすおそれがある。 <過去の災害履歴> 令和4年 台風15号 <災害発生の危険度> 渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性が高い。							
事業概要図							
							
<div style="text-align: center;">保全対象</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>人家10戸</span> <span>県道 磐田天竜線</span> </div>							

## 令和5年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	水ノ谷川防災・安全交付金（通常砂防）事業						
河川・路線・施設名等	水ノ谷川			所在市町	磐田市		
事業費	140 百万円			事業期間	R 4 ~ R 5		
事業概要、目的							
水ノ谷川は静岡県西部に位置し、保全対象として人家 19 戸、県道を含む土石流危険渓流である。当該箇所は令和 4 年台風 15 号により土石流が発生した箇所であり、さらなる土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。							
費用対効果(B/C)	7.8	総費用	153	総便益	1,195	基準年	R 4
費用対効果分析の手法							
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。							
評価指標、項目							
＜災害発生時の影響＞		人家、県道磐田天竜線等に被害を及ぼすおそれがある。					
＜過去の災害履歴＞		令和 4 年 台風 15 号					
＜災害発生の危険度＞		渓流の荒廃状況や土質等の調査結果より、不安定土砂が厚く堆積しているため、災害発生の危険性が高い。					
事業概要図							
位置図		土地利用状況図					
							
保全対象							
							
人家19戸				県道 磐田天竜線			

令和 5 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	逢初川防災・安全交付金（火山砂防）事業						
河川・路線・施設名等	逢初川			所在市町	熱海市		
事業費	120 百万円			事業期間	R 4 ~ R 5		
事業概要、目的							
<p>逢初川は熱海市北部に位置し、保全対象として人家 170 戸および東海道新幹線、国道 135 号を含む土石流危険渓流である。当該渓流は、令和 3 年 7 月の豪雨により土石流災害が発生し、甚大な被害に見舞われ新設堰堤を整備したが、堰堤と河川施設の間には未整備区間があり、渓岸侵食等による土砂の流出のおそれがあることから、渓流保全工の整備を実施する。</p>							
費用対効果 (B/C)	1.3	総費用	133	総便益	170	基準年	R 4
費用対効果分析の手法							
「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」(R3.1) による。							
評価指標、項目							
＜災害発生時の影響＞		人家、東海道新幹線、水道施設、国道 135 号、消防署等に被害を及ぼすおそれがある。					
＜過去の災害履歴＞		令和 3 年 7 月の豪雨					
＜災害発生危険度＞		堰堤と河川施設の間には未整備区間があり、渓岸侵食等による、災害発生危険性が高い。					

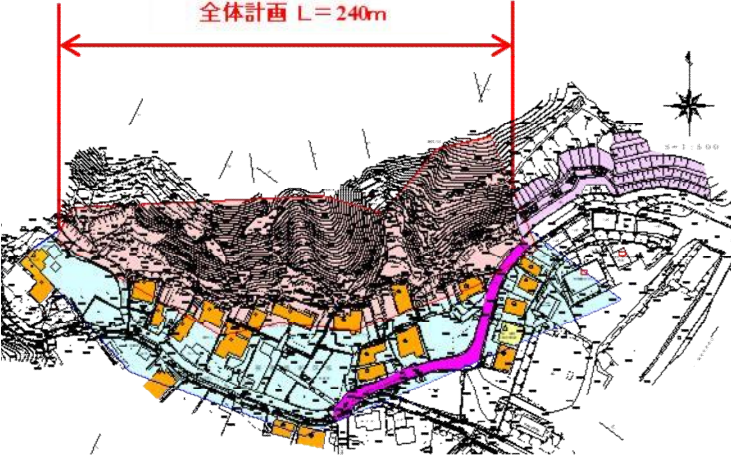
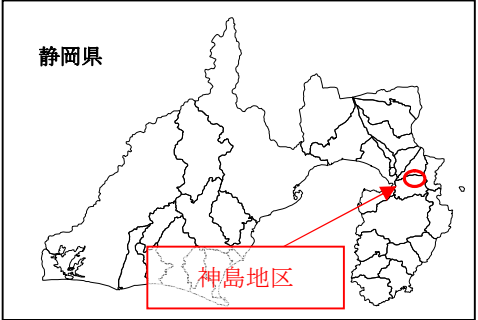
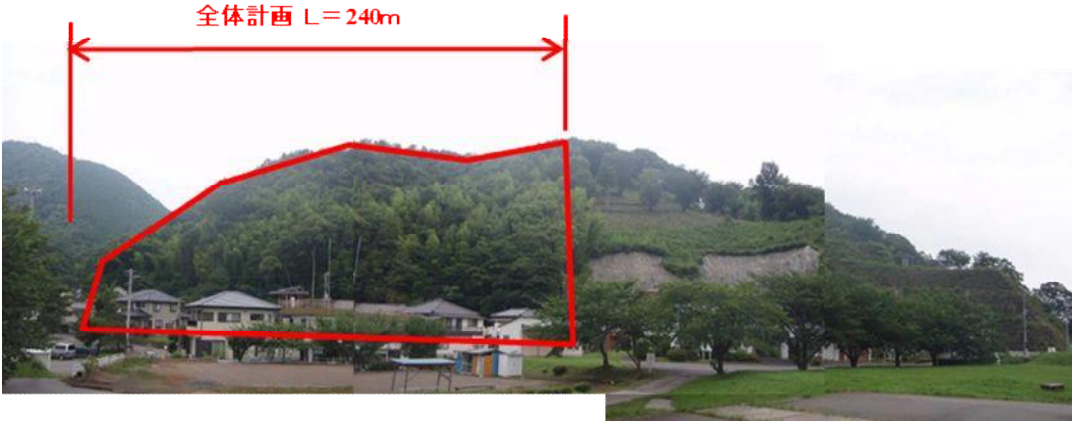
事業概要図

<p>流域概要図</p>	<p>位置図</p>		
<p>荒廃状況</p>	<p>保全対象</p>	<p>被災状況(上流)</p>	<p>被災状況(中流)</p>
		<p>被災状況(下流)</p>	



## 令和5年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	神島B 防災・安全交付金（急傾斜）事業						
河川・路線・施設名等	神島B			所在市町	伊豆の国市		
事業費	300 百万円			事業期間	R 4 ~ R12		
事業概要、目的							
<p>神島B地区は、静岡県伊豆の国市に位置し、保全対象として人家20戸および県道韮山修善寺線を含む急傾斜地である。</p> <p>伊豆の国市内には土砂災害警戒区域が多数存在しており、特に当該地区周辺の斜面は荒廃が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>							
費用対効果(B/C)	7.5	総費用	251	総便益	1,878	基準年	R 4
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による							
評価指標、項目							
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家20戸県道韮山修善寺線等に被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
 							
							



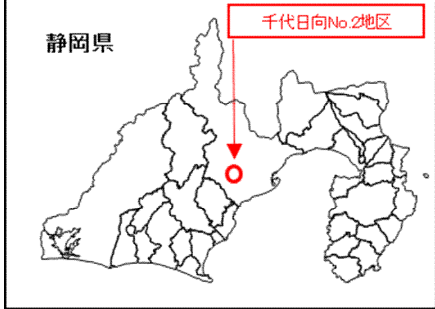

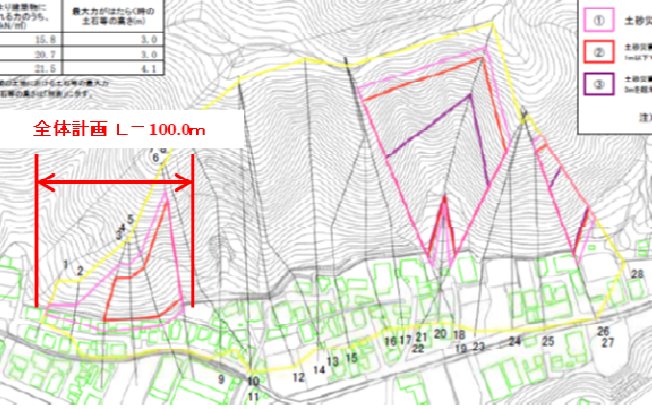
令和5年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	建穂赤松峠 No. 2 防災・安全交付金（急傾斜）事業						
河川・路線・施設名等	建穂赤松峠 No. 2	所在市町	静岡市				
事業費	420 百万円	事業期間	R 4 ~ R 9				
<p>事業概要、目的</p> <p>建穂地区は、静岡県静岡市葵区の南西部に位置し、保全対象として人家 24 戸の急傾斜地である。</p> <p>静岡市内には土砂災害警戒区域が多数存在しており、特に当該地区周辺の斜面は、法尻部分の斜面が急峻であり、表土も脆い地質であることから、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>							
費用対効果(B/C)	5.9	総費用	370	総便益	2,198	基準年	R 4
<p>費用対効果分析の手法</p> <p>「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による</p>							
<p>評価指標、項目</p> <p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家 24 戸等に被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
<p>事業概要図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="188 1115 970 1568"> </div> <div data-bbox="997 1169 1436 1482"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="395 1608 1273 2020"> </div> </div>							

令和5年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	千代日向 No. 2 防災・安全交付金（急傾斜）事業														
河川・路線・施設名等	千代日向 No. 2	所在市町	静岡市												
事業費	120 百万円	事業期間	R 4 ~ R 9												
<p>事業概要、目的</p> <p>千代日向地区は、静岡県静岡市葵区の南西部に位置し、保全対象として人家 17 戸の急傾斜地である。</p> <p>静岡市内には土砂災害警戒区域が多数存在しており、特に当該地区周辺の斜面は、法尻部分の斜面が急峻であり、表土も脆い地質であることから、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>															
費用対効果(B/C)	15.2	総費用	106												
		総便益	1,603												
		基準年	R 4												
<p>費用対効果分析の手法</p> <p>「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による</p>															
<p>評価指標、項目</p> <p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家 17 戸等に被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>															
<p>事業概要図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>静岡県</p> <p>千代日向No.2地区</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>全体計画 L=100m</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td>土砂災害警戒区域に なる方のうち、 危険度</td> <td>最大谷幅はたか（時の 主谷幅の長さ(m)</td> <td>① 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅰ)</td> </tr> <tr> <td>15.8</td> <td>3.0</td> <td>② 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅱ)</td> </tr> <tr> <td>39.7</td> <td>3.0</td> <td>③ 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅲ)</td> </tr> <tr> <td>21.6</td> <td>6.1</td> <td>④</td> </tr> </table> <p>数字は「危険度Ⅰ」として危険度の最大値、 数字は「危険度Ⅱ」として危険度の最大値、 数字は「危険度Ⅲ」として危険度の最大値。</p>  <p>全体計画 L=100.0m</p> </div>				土砂災害警戒区域に なる方のうち、 危険度	最大谷幅はたか（時の 主谷幅の長さ(m)	① 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅰ)	15.8	3.0	② 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅱ)	39.7	3.0	③ 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅲ)	21.6	6.1	④
土砂災害警戒区域に なる方のうち、 危険度	最大谷幅はたか（時の 主谷幅の長さ(m)	① 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅰ)													
15.8	3.0	② 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅱ)													
39.7	3.0	③ 土砂災害 警戒区域 (危険度Ⅲ)													
21.6	6.1	④													



## 令和 5 年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	川原平 b 防災・安全交付金（急傾斜）事業		
河川・路線・施設名等	川原平 b	所在市町	藤枝市
事業費	200 百万円	事業期間	R 4 ~ R 9
事業概要、目的			
<p>川原平 b 地区は、静岡県藤枝市瀬古に位置し、保全対象として人家 17 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>当該地区周辺の斜面は、斜面の荒廃の進行が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>			
費用対効果 (B/C)	9.1	総費用	177
		総便益	1,615
		基準年	R 4
費用対効果分析の手法			
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による			
評価指標、項目			
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家 17 戸等に被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>			
事業概要図			
 <p>全体計画 L=100.0m</p>		 <p>静岡県</p> <p>川原平b地区</p>	
 <p>全体計画 L=100m</p>			



## 令和5年度 新規事業箇所調書

(砂防課)

事業名	坊主免防災・安全交付金（急傾斜）事業						
河川・路線・施設名等	坊主免		所在市町	藤枝市			
事業費	300 百万円		事業期間	R 4 ~ R 9			
事業概要、目的							
<p>坊主免地区は、静岡県藤枝市時ヶ谷に位置し、保全対象として人家 12 戸を含む急傾斜地である。</p> <p>当該地区周辺の斜面は、斜面の荒廃の進行が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。</p>							
費用対効果(B/C)	4.2	総費用	264	総便益	1,096	基準年	R 4
費用対効果分析の手法							
「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による							
評価指標、項目							
<p>&lt;災害発生時の影響&gt; 人家 12 戸等に被害を及ぼすおそれがある。</p> <p>&lt;過去の災害履歴&gt; なし</p> <p>&lt;災害発生の危険度&gt; 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。</p>							
事業概要図							
							
							

令和 5 年度 新規事業箇所調査

(砂防課)

事業名	源太山防災・安全交付金（急傾斜）事業		
河川・路線・施設名等	源太山	所在市町	湖西市
事業費	100 百万円	事業期間	R 4 ~ R 9

事業概要、目的

源太山地区は、静岡県湖西市新居町に位置し、保全対象として人家 19 戸及び湖西市地域防災計画の避難路や市道新居 102 号線、104 号線を含む急傾斜地である。

当該地区周辺の斜面は荒廃が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。

費用対効果 (B/C)	22.9	総費用	89	総便益	2,040	基準年	R 4
-------------	------	-----	----	-----	-------	-----	-----

費用対効果分析の手法

「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」国土交通省砂防部 R3 による

評価指標、項目

<災害発生時の影響> 人家 19 戸・市道等に被害を及ぼすおそれがある。

<過去の災害履歴> なし

<災害発生の危険度> 保全対象と斜面形状、崩壊の危険性の調査結果により、斜面の荒廃が進行し災害発生の危険性が高い。

事業概要図

